

新電子調達システムよくあるお問合せ

管理番号	大カテゴリ	小カテゴリ	質問	回答
1-1	はじめに確認すること	利用開始	新システムの利用開始に当たり、何をすればよいですか。	現在、名古屋市の競争入札参加資格をお持ちの事業者は、登録情報とアカウントが新システムに引き継がれるため、新システムで新たにアカウントを作成する必要はありません。新システムの稼働後に、①パスワードの再設定、②引き継がれた登録情報及びメールアドレスの確認、③必要に応じた担当者アカウントの追加、④GビズIDを利用する場合はGビズIDとの連携を行ってください。
1-2	はじめに確認すること	GビズID	GビズIDは必ず取得する必要がありますか。	GビズIDの取得は原則として任意です。GビズIDがなくても、新システム独自のID・パスワードで各機能を利用できます。ただし、行政書士やグループ会社など、事業者外部の方に競争入札参加資格申請の代理申請を委任する場合は、GビズIDが必要になります。
1-3	はじめに確認すること	ICカード	GビズIDを利用すれば、ICカードは不要になりますか。	いいえ。GビズID又は新システム独自のID・パスワードはシステムへのログインに使用し、ICカードは電子入札における質問書、資格確認申請書、技術提案資料、入札書等の提出に使用します。GビズIDでログインする場合でも、電子入札の対象となる手続にはICカードが必要です。なお、電子見積にはICカードは必要ありません。
1-4	はじめに確認すること	情報閲覧	アカウントがなくても調達情報を閲覧できますか。	はい。アカウントがなくても、調達案件の公告、仕様書等の案件資料、入札結果・契約結果、有資格者名簿等を閲覧することができます。ただし、ウォッチリストなど利用者ごとの設定を保存する機能については、システムへのログインが必要です。
2-1	新システムへの移行	資格情報	現在の競争入札参加資格は新システムに引き継がれますか。	はい。現行システムの有資格者名簿の登録情報は新システムに引き継がれます。新システムで改めて競争入札参加資格申請を行う必要はありません。
2-2	新システムへの移行	アカウント	現行システムのアカウントは新システムに引き継がれますか。	はい。現行システムの「連絡先情報」のメールアドレスが、新システムの管理者アカウントのIDとして引き継がれます。パスワードは引き継がれないため、新システムの稼働後に再設定してください。
2-3	新システムへの移行	移行対象	現行システムから新システムへ、どの情報が引き継がれますか。	主な引継ぎ対象は、有資格者名簿の登録情報、現行システムの連絡先メールアドレス、申請担当者メールアドレス、登録済みのICカード情報、移行時点で手続中の案件情報及び提出済み書類です。
2-4	新システムへの移行	移行対象外	現行システムから新システムへ引き継がれない情報は何か。	ログインパスワード、指名通知メールアドレス及びICカード担当者メールアドレスは引き継がれません。ログインパスワードは新システムの稼働後に再設定してください。指名通知は、新システムでは契約等名義人メールアドレスへ送信します。
2-5	新システムへの移行	事前準備	新システムの稼働前に必要な作業はありますか。	GビズIDを利用しない場合、原則として事前に必要な作業はありません。ただし、現行システムの連絡先メールアドレスが正しいことを確認してください。GビズIDを利用する場合は、GビズIDを準備し、実際に操作するGビズIDメンバーに「名古屋市電子調達システム」の利用権限を付与してください。
2-6	新システムへの移行	稼働後作業	新システムの稼働後に必要な作業はありますか。	パスワードを再設定した後、引き継がれた登録情報及び連絡先メールアドレスを確認してください。その後、必要に応じて担当者アカウントの追加、GビズIDとの連携及び登録情報の変更を行ってください。

新電子調達システムよくあるお問合せ

管理番号	大カテゴリ	小カテゴリ	質問	回答
2-7	新システムへの移行	手続中案件	現行システムで手続中の案件は、新システムでも引き続き手続できますか。	はい。現行システムで参加申請等を行った案件の情報は新システムに引き継がれます。新システムの稼働後は、新システムから引き続き手続を行ってください。現行システムで提出済みの書類を改めて提出する必要はありません。
2-8	新システムへの移行	停止期間	現行システムの停止期間中に公告は行われますか。	現行システムの停止期間中は公告を行いません。具体的な停止期間は、名古屋市新電子調達システム説明会資料をご確認ください。
3-1	アカウント・ログイン	基本	事業者ユーザーアカウントとは何ですか。	電子調達システムを利用する担当者ごとのアカウントです。登録したメールアドレスがログインIDとなります。1事業者につき複数のアカウントを作成できます。
3-2	アカウント・ログイン	複数アカウント	1つの事業者で複数のアカウントを作成できますか。	はい。アカウント数に上限はなく、担当者又は拠点ごとに作成できます。パスワードの共有を避けるため、実際に操作する担当者ごとにアカウントを作成することを推奨します。
3-3	アカウント・ログイン	単一アカウント	1つのアカウントだけで運用できますか。	はい、1つのアカウントでも運用できます。ただし、1つのアカウントで複数の端末から同時にログインすることはできません。また、担当者の異動・退職時の対応やパスワード管理のため、担当者ごとのアカウント作成を推奨します。
3-4	アカウント・ログイン	権限	管理者と一般利用者の違いは何ですか。	管理者は、事業者ユーザーアカウントの追加・変更・削除や権限設定を行います。一般利用者は、付与された「入札参加者登録」又は「電子入札・電子見積」の操作権限の範囲内で手続を行います。管理者は複数設定できます。
3-5	アカウント・ログイン	管理者	管理者は代表取締役又は支店長でなければなりませんか。	いいえ。管理者の設定に役職による制限はありません。各事業者の利用体制に応じて、実際にアカウント管理を行う担当者へ管理者権限を付与してください。
3-6	アカウント・ログイン	メールアドレス	担当者ごとに異なるメールアドレスが必要ですか。	はい。事業者ユーザーアカウントごとに異なるメールアドレスが必要です。同じメールアドレスで複数のアカウントを作成することはできません。
3-7	アカウント・ログイン	同時ログイン	1つのアカウントで複数のパソコンから同時にログインできますか。	いいえ。複数のパソコンから同じアカウントでログインした場合、先にログインしていたパソコンは自動的にログアウトします。
3-8	アカウント・ログイン	案件分担	同一案件を複数の担当者で分担できますか。	はい。同一案件について、指名通知の確認、質問書の提出、入札書の提出等を、それぞれ異なる担当者のアカウントから行うことができます。手続の名義は、あらかじめ登録された契約等名義人となります。

新電子調達システムよくあるお問合せ

管理番号	大カテゴリ	小カテゴリ	質問	回答
3-9	アカウント・ログイン	担当者変更	担当者の異動又は退職に伴い、管理者を変更するにはどうすればよいですか。	先に後任者の事業者ユーザーアカウントを作成して管理者権限を付与し、後任者が管理者として利用できることを確認した後、旧担当者のアカウントを削除してください。
3-10	アカウント・ログイン	アカウント名	事業者ユーザーアカウントには、誰の氏名を登録すればよいですか。	実際にシステムを操作する担当者本人の氏名を登録してください。会社名、支店名又は契約等名義人の氏名を、担当者本人の氏名に代えて登録するものではありません。
4-1	メールアドレス・通知	種類	新システムには、どのようなメールアドレスを登録しますか。	主な区分は、①ユーザーアカウントID、②事務担当者メールアドレス、③契約等名義人メールアドレス、④申請担当者メールアドレスです。ユーザーアカウントIDはログイン等、事務担当者は事業者全体への連絡、契約等名義人は入札・契約関係の連絡、申請担当者は個別の資格申請に関する連絡に使用します。
4-2	メールアドレス・通知	同一アドレス	複数の区分に同じメールアドレスを登録できますか。	はい。事務担当者、契約等名義人及び申請担当者に同じメールアドレスを登録できます。ただし、同じメールアドレスであっても、各区分への登録はそれぞれ必要です。
4-3	メールアドレス・通知	共有アドレス	共有メールアドレスやメーリングリストを登録できますか。	はい。同一事業者内で使用する共有メールアドレス又はメーリングリストを登録できます。
4-4	メールアドレス・通知	重複	「メールアドレスの重複」とは何ですか。	別の法人又は別の事業者が、同じメールアドレスを連絡先メールアドレスとして登録している状態をいいます。
4-5	メールアドレス・通知	現行連絡先	有資格者名簿の連絡先メールアドレスとは、どのメールアドレスですか。	現行の入札参加者登録システムにある「連絡先情報」のメールアドレスです。現行システムにログインし、「登録内容照会」から確認できます。
4-6	メールアドレス・通知	指名通知	指名通知はどのメールアドレスに届きますか。	新システムでは、指名通知を契約等名義人メールアドレスへ送信します。
4-7	メールアドレス・通知	複数受信	指名通知を複数のメールアドレスで受信できますか。	システム上、1人の契約等名義人に複数のメールアドレスを設定することはできません。複数人で確認する場合は、メール転送又は共有メールアドレスの利用を検討してください。
4-8	メールアドレス・通知	旧メール項目	旧システムの指名通知メールアドレスとICカード担当者メールアドレスはどうなりますか。	いずれも新システムには引き継がれません。指名通知メールアドレスの役割は、契約等名義人メールアドレスが引き継ぎます。ICカード担当者メールアドレスは廃止します。

新電子調達システムよくあるお問合せ

管理番号	大カテゴリ	小カテゴリ	質問	回答
4-9	メールアドレス・通知	変更	登録したメールアドレスを変更できますか。	はい。新システムの所定の画面から、事務担当者及び契約等名義人のメールアドレスを変更できます。申請担当者メールアドレスは、各申請時に登録します。
5-1	G.bizID	基本	G.bizIDを利用すると、どのようなメリットがありますか。	競争入札参加資格申請において、印鑑証明書等の一部書類の提出を省略できるほか、G.bizIDの登録情報が申請画面へ連携され、入力負担が軽減されます。また、他の行政サービスと共通のID・パスワードでログインできます。
5-2	G.bizID	未利用	G.bizIDを利用しない場合、利用できない機能はありますか。	G.bizIDを利用しない場合でも、新システム独自のID・パスワードを使用して各機能を利用できます。ただし、一部添付書類の提出省略、登録情報の自動入力及び社外への代理申請は利用できません。
5-3	G.bizID	種類	新システムで利用できるG.bizIDの種類は何ですか。	G.bizIDプライム又はG.bizIDメンバーを利用できます。法人情報が紐づいていないG.bizIDエントリーは利用できません。
5-4	G.bizID	従業員利用	代表者以外の従業員もG.bizIDを利用できますか。	はい。代表者がG.bizIDプライムを取得し、実際に操作する従業員についてG.bizIDメンバーを作成してください。その後、G.bizIDプライム等から当該メンバーへ「名古屋市電子調達システム」の利用権限を付与します。
5-5	G.bizID	利用権限	G.bizIDの「利用可能なサービス」に名古屋市電子調達システムを登録する必要がありますか。	はい。G.bizIDを利用する場合は、実際に操作するG.bizIDメンバー等の「利用可能なサービス」に「名古屋市電子調達システム」が登録されている必要があります。G.bizIDプライム又は設定権限を持つアカウントから付与してください。 権限付与の方法はG.bizID公式ウェブサイトよりマニュアルをご確認ください。 https://gbiz-id.go.jp/top/manual/manual.html 「G.bizIDクイックマニュアルG.bizIDメンバー編P.9～11」
5-6-1	G.bizID	表示されない	利用可能なサービス一覧に名古屋市電子調達システムが表示されません。	G.bizIDメンバーに利用権限が付与されていない可能性があります。G.bizIDプライム又は設定権限を持つアカウントから、当該メンバーへ「名古屋市電子調達システム」の利用権限が付与されているか確認してください。G.bizIDエントリーは利用できません。
5-6-2	G.bizID	表示されない	G.bizIDプライムのマイページに、名古屋市電子調達システムが「利用可能なサービス」として表示されません。利用できることを確認する方法はありますか。	G.bizIDプライムでは、利用可能な行政サービスを個別に設定する必要がないため、マイページ上で名古屋市電子調達システムが「利用可能なサービス」として表示されなくても利用できます。 なお、名古屋市電子調達システムは、G.bizIDを利用できる行政サービスとして登録済みです。
5-7	G.bizID	自動連携	新システムのアカウントとG.bizIDは自動的に連携されますか。	いいえ。移行時に作成される事業者ユーザーアカウントにG.bizIDは自動連携されません。新システムの稼働後、マイページから連携してください。
5-8	G.bizID	後日連携	G.bizIDは後から連携できますか。	はい。新システム独自のID・パスワードで利用を開始した後でも、事業者ユーザーアカウントにG.bizIDを連携できます。

新電子調達システムよくあるお問合せ

管理番号	大カテゴリ	小カテゴリ	質問	回答
5-9	G.bizID	連携条件	G.bizIDと事業者ユーザーアカウントを連携するための条件は何ですか。	事業者ユーザーアカウントのIDであるメールアドレスと、G.bizIDに登録されているメールアドレスが一致している必要があります。所在地や担当者の役職等がすべて一致している必要はありません。
5-10	G.bizID	メール不一致	事業者ユーザーアカウントとG.bizIDのメールアドレスが一致しない場合はどうすればよいですか。	G.bizIDを使用して新たなユーザーアカウントを作成し、有資格者情報と関連付けてください。移行時に作成されたアカウントは、引き続き利用することも、不要であれば削除することもできます。
5-11	G.bizID	名義	G.bizIDの名義と契約等名義人又はICカードの名義が異なってもよいですか。	はい。G.bizIDの名義と契約等名義人の名義は異なっても利用できます。入札は、あらかじめ登録された契約等名義人の名義で行われます。ICカードが必要な手続では、契約等名義人の名義のICカードを使用してください。
5-12	G.bizID	取得方法	G.bizIDの取得方法や取得までの期間は、どこで確認できますか。	G.bizIDの取得方法、本人確認方法、必要書類及び取得までの期間は、G.bizID公式ウェブサイトのマニュアル及び問い合わせ先をご確認ください。
6-1	代理申請	基本	代理申請とは何ですか。	行政書士やグループ会社など、申請者とは別の事業者競争入札参加資格申請を委任し、受任者が申請手続を行うことをいいます。
6-2	代理申請	社内手続	同じ会社の従業員や支店が申請する場合も、代理申請に当たりますか。	いいえ。同一事業者内の従業員又は支店が申請する場合は、社外への代理申請には当たりません。G.bizIDを利用する場合は、実際に操作する従業員のG.bizIDメンバーに利用権限を付与してください。
6-3	代理申請	G.bizID	行政書士やグループ会社に資格申請を委任する場合、G.bizIDは必要ですか。	はい。社外の方に代理申請を委任する場合は、委任者と受任者がG.bizIDを用いて委任関係を設定する必要があります。
6-4	代理申請	手順	代理申請を行うための手順を教えてください。	①委任者と受任者がG.bizIDを準備し、②G.bizID上で委任・受任関係を設定し、③委任者及び受任者が名古屋市電子調達システムのアカウントを準備した後、④受任者がログインして対象事業者の代理申請を行います。
6-5	代理申請	設定期限	委任・受任関係は、いつまでに設定する必要がありますか。	実際に代理申請を行う前までに、G.bizID上の委任・受任関係の設定を完了してください。
7-1	ICカード・電子入札・電子見積	必要性	新システムでもICカードは必要ですか。	電子入札に参加する場合は、引き続きICカードが必要です。調達情報の閲覧及び電子見積にはICカードは必要ありません。

新電子調達システムよくあるお問合せ

管理番号	大カテゴリ	小カテゴリ	質問	回答
7-2	ICカード・電子入札・電子見積	対象手続	ICカードが必要となる手続は何ですか。	質問書、資格確認申請書、技術提案資料、入札書等を電子入札で提出する際に必要です。
7-3	ICカード・電子入札・電子見積	引継ぎ	現在登録しているICカードは新システムに引き継がれますか。	はい。現行システムに登録されているICカード情報は新システムに引き継がれます。有効なICカードであれば、改めて利用者登録を行うことなく利用できます。
7-4	ICカード・電子入札・電子見積	複数枚	複数のICカードを登録できますか。	はい。複数のICカードを登録できます。現行システムに複数枚登録されている場合は、いずれの登録情報も新システムに引き継がれます。
7-5	ICカード・電子入札・電子見積	複数拠点	複数の拠点で電子入札を行う場合はどうすればよいですか。	複数の拠点で入札事務を分担する場合は、拠点ごとに利用するICカードを準備してください。また、同時に操作する可能性がある場合は、担当者ごとに事業者ユーザーアカウントを作成してください。
7-6	ICカード・電子入札・電子見積	別パソコン	ICカードを別のパソコンに差し替えて利用できますか。	はい。必要な環境設定が完了しているパソコンであれば利用できます。ただし、同じ事業者ユーザーアカウントによる同時ログインはできません。
7-7	ICカード・電子入札・電子見積	認証局	利用できるICカード又は認証局はどこで確認できますか。	以下のウェブサイトで確認できます。 https://www.calsjacic.or.jp/coreconso/inadvance/agencylist.html ICカードの新規取得又は更新前に、利用予定の認証局が対応していることを確認してください。
7-8	ICカード・電子入札・電子見積	電子見積	電子見積にICカードは必要ですか。	いいえ。電子見積は、GビズID又は新システム独自のID・パスワードで参加できます。
8-1	競争入札参加資格申請	再申請	現在資格を持っていますが、新システムで改めて申請する必要がありますか。	いいえ。現行システムで認定されている競争入札参加資格は新システムに引き継がれます。
8-2	競争入札参加資格申請	提出方法	新システムでは、申請書類をどのように提出しますか。	新システムから申請データ及び添付ファイルをオンラインで提出してください。書面による窓口提出は原則として行いません。
8-3	競争入札参加資格申請	添付資料	これまで郵送していた添付資料はどのように提出しますか。	PDF等のファイルを新システムへアップロードして提出してください。スキャンしたデータ又は作成元の電子データのいずれでも差し支えありません。対象書類、ファイル形式等の詳細は、後日公開予定の「競争入札参加資格審査申請の手引」をご確認ください。

新電子調達システムよくあるお問合せ

管理番号	大カテゴリ	小カテゴリ	質問	回答
8-4	競争入札参加資格申請	書類省略	GビズIDを利用すると提出を省略できる書類は何ですか。	GビズIDを利用することで、印鑑証明書、登記事項証明書等及び実印を押印した書類の写しなど、一部の書類の提出を省略できます。対象書類は申請区分により異なる場合があるため、後日公開予定の「競争入札参加資格審査申請の手引」をご確認ください。
8-5	競争入札参加資格申請	GビズID未利用	GビズIDを利用しない場合、印鑑証明書等はどのように提出しますか。	必要な証明書等の写しを電子データにし、新システムへアップロードしてください。必要書類及び提出方法の詳細は、後日公開予定の「競争入札参加資格審査申請の手引」をご確認ください。
8-6	競争入札参加資格申請	環境依存文字	商号、代表者氏名等に環境依存文字が含まれています。どのように入力すればよいですか。	入力できない文字は、入力可能な正字に置き換えて入力してください。文字の確認のために書類を別途郵送する必要はありません。
8-7	競争入札参加資格申請	更新受付	次期の競争入札参加資格申請はいつから受け付けますか。	受付期間が決まり次第、名古屋市公式ウェブサイト及び電子調達システムでお知らせします。
9-1	調達情報・ウォッチリスト・その他	情報閲覧	アカウントがなくても調達案件や仕様書等を閲覧できますか。	はい。ログインしていない状態でも、調達案件の公告や仕様書等を閲覧・ダウンロードできます。ただし、一部の秘密情報を含む資料は、ログイン状態でないと、ダウンロードできない場合があります。
9-2	調達情報・ウォッチリスト・その他	結果閲覧	アカウントがなくても入札結果や有資格者名簿を閲覧できますか。	はい。入札結果、契約結果、有資格者名簿等は、ログインせずに閲覧できます。ICカードも必要ありません。
9-3	調達情報・ウォッチリスト・その他	ウォッチリスト	ウォッチリストとは何ですか。	あらかじめ設定した条件に一致する調達案件を一覧で確認できる機能です。
9-4	調達情報・ウォッチリスト・その他	ウォッチリスト	ウォッチリストを利用するにはアカウントが必要です。	はい。ウォッチリストの条件を登録し、該当案件を確認するにはアカウントへのログインが必要です。調達情報そのものの閲覧にはアカウントは必要ありません。
9-5	調達情報・ウォッチリスト・その他	プライバシー	ウォッチリストに登録した内容を名古屋市が確認できますか。	いいえ。事業者がウォッチリストに登録した条件や案件を名古屋市が確認することはできません。また、ウォッチリストへの登録は入札参加の意思表示にはなりません。
9-6	調達情報・ウォッチリスト・その他	入札手続	ウォッチリストに表示された案件は、自動的に入札手続画面にも表示されますか。	いいえ。該当案件はまずウォッチリスト画面に表示されます。入札手続を行う場合は、ウォッチリスト画面から「入札手続へ」等の操作を行い、入札手続画面へ追加してください。

新電子調達システムよくあるお問合せ

管理番号	大カテゴリ	小カテゴリ	質問	回答
9-7	調達情報・ウォッチリスト・その他	指名案件	指名案件は入札手続画面に表示されますか。	はい。自社が指名された案件は、入札手続画面に表示されます。
9-8	調達情報・ウォッチリスト・その他	質問書	質問書に指定様式はありますか。	原則として任意の様式で作成し、ファイルをアップロードしてください。個別案件で様式又はファイル形式の指定がある場合は、その指定に従ってください。